

光西寺だより 第34号

海一味

発行所

大阪市平野区加美北1-25-1

光西寺

Tel 06-6754-6423

<http://www.oct.zaq.ne.jp/kousaiji>

「葬式は浄土の入学式」

光西寺副住職 田中 咲穂

本当に早いもので、もうすぐ四月です。

四月は桜咲く中、卒業式・入学式・入社式があり、それぞれの新しい段階のはじまりでありますがいかがお過ごしでしょうか?

先日、ある家でお茶を飲みながら世間話をしておりましたら、遺影の話になりました。

「亡くなつた主人は写真がなくてお葬式の時には本当に困りましたから私は良い写真を残しておきたいです。ただ生前に写真を選ぶとかはあまり良くないことですかね?」ある日自分の写真を「どれにしようかな」と選んでいたら、「縁起でもない。そんなのまだ早いわよ」と娘さんにどやされたそうです。

誰だって元気な時に死を連想する葬式や遺影と言う言葉は聞きたくないものでしょ

うね。縁起でもないといつても、しかしつかは迎えないといけない事実です。ではこう考えたらどうでしようか?

通夜は人生の卒業式 葬式は浄土の入学式

生きているときは煩惱に流されいつも自分を見失っていたのが私です。しかし世間という場を卒業し、葬儀をきっかけに仏様の国、お浄土に往かせていただくとしたら怖くはないですね。「死」を遠ざけるのではなく、生と死と一緒にいただきながら生きていくことの大切さを伝えたものです。死と向き合うことで生が100倍にも生きてくるのでしょうか。

合掌

死
忘
日
を
た
人
れ
本

※正信念佛偈の意味を知ろう

正信：如來の言葉を信じる
(絶対に救う)

念佛偈：嬉しい時も悲しい時
も唱える讃歌

*正信偈は親鸞聖人の著作であり、浄土真宗の立教のいわれを著わした「修行信証」の「行の巻」の最後に書かれているものです。

○証歎地生安樂

歎喜地をさとり淨土に往生するだろうと

○顯示難行陸路苦

難行の陸路を進むのは苦しいとあらわされた龍樹菩薩は

○信樂易行水道樂

易行の船の旅の楽しきことをすすめられ

○憶念弥陀仏本願

阿弥陀仏の本願を信じれば

○自然即時入必定

信心を頂くと同時に必ず仏になることが決定した位に入る

○唯能常称如來号

だから、ただよく常に阿弥陀如來の名号を称えて

○應報大悲弘誓恩

全ての人を救つて下さる大悲の恩を報ぜよと述べられた

○天親菩薩造論說

天親菩薩は淨土論を作り説かれた

(続きは次号にて)

『第25代専如門主伝灯奉告法要』団体参拝のお知らせ

昨年の六月に新門様がご門主となられました。その伝灯奉告法要が西本願寺で八十日にわたって勤修されることになりました。

今年の十月二十一日(金)に西本願寺へ団体参拝を実施いたします。

募集人員は二十名です。

皆さんと本願寺へお参り出来るのを楽しみにしております。是非一緒に楽しい思いを作りましょう。

ご寄付お願い

この法要の推進のために本山より懇意依頼が光西寺にも参つております。ご進納がまだのお方は、十一月三十日迄に賜りますようお願い申し上げます。

一口 三千円 (一口以上)

前坊守告別式にあたり御挨拶

光西寺初代坊守、田中泰江の告別式に際しましては有縁の皆様にはご参列賜り誠に有難く衷心より御礼申し上げます。振り返りますと今年で大阪光西寺開山二十五年になります。多くの方々のお力添えとご縁を頂き、光西寺新築、改築の大事業に坊守として大きく助力してくれました。坊守のモットーは“仏様を通して一人でも多くの皆様と仏縁を結び、お寺へ来て頂いて対話をし、お茶を飲み笑顔で帰つていただくこと”の様に思えます。はつきりともの言い、常に前向きの心で一生懸命お寺とご法義の為につくしてくれました。



大阪にて葬儀・告別式 島根にて告別式

振り返りますと今年で大阪光西寺開山二十五年になります。多くの方々のお力添えとご縁を頂き、光西寺新築、改築の大事業に坊守として大きなく助力してくれました。

坊守のモットーは“仏様を通じて一人でも多くの皆様と仏縁を結び、お寺へ来て頂いて

対話をし、お茶を飲み笑顔で帰つていただくこと”の様に思えます。はつきりともの言い、常に前向きの心で一生

懸命お寺とご法義の為につくしてくれました。

く衷心より御礼申し上げます。

振り返りますと今年で大阪

光西寺開山二十五年になります。

多くの方々のお力添えと

ご縁を頂き、光西寺新築、改築の大事業に坊守として大きなく助力してくれました。

これひとえに多くの皆様のご指導とご支援の賜物でありました。亡くなつて三ヶ月が過ぎ今は佛様となつてお淨土より私達を見護り導いてくれていることと想います。これからは坊守が残してくれた数々の思い出と足跡を大切にして、ご法義繁昌に尽力して参りますのでどうか今後とも私達に対しますご支援ご指導の程を心よりお願ひ申し上げます。

例年の永代経法要並びに光西寺初代坊守教念院釋泰寿（田中泰江）の満中陰法要の意をもつて左記の通り勤修いたします。

永代経法要是、懐かしい故人や遠い先祖に感謝し、故人を通して仏縁をいただき、これから的人生を心豊かに生きてゆくため、仏智のお導きを受ける大切な法要です。

ご多用のこととは存じますが、何卒ご参詣のうえお聴聞お焼香下さいますようご案内申し上げます。

永代経並び前坊守満中陰法要

小笠原 義宣 師

講師	四月十六日（土）一時半より
伝灯奉告法要本部長	四月十七日（日）一時半より
本願寺派宗会議員	

訃報報のお知らせ

前門信徒会会长 井上春雄様
(行年九〇歳)が三月五日に往生いたしました。お知らせいたします。

*井上春雄様には光西寺の門信徒会会长(総代長)として十二年間ご尽力いたきました。井上様の功績に対しても西本願寺より特別に院号「法徳院」釋正意が下附されました。

法話と茶話会へのご案内

五月一十七日(金)午後一時



第十八回ふれあい旅行募集

一年に一度のふれあい旅行も十七回目を迎える事になりました。今回は姫路城・圓教寺などに行く予定にしています。是非ご参加下さい。

行き先

姫路城・圓教寺他

(日帰りです)

日時 六月五日(日)

費用 八、〇〇〇円

(バス代、昼食代・拝観料含)

募集人員

四十人

詳しいことは追つてお知らせしますので、参加される方は五月三十日までに光西寺にご連絡下さい。



若坊守のひとりごと

京都の北野天満宮の向かいにある、とようけ屋というお豆腐屋の主人がテレビに出ていた。七十九歳の今も、夜十時から仕込みをされている。

そういえば、服屋に勤めていた頃その豆腐屋で働いていたお客様が服を買う買わない関係なく、しょっちゅう豆腐を持ってくれた事を思い出した。

御主人が糺余曲折を語る中で

「人の声は神の声」その中でも耳障りな声ほど大切な声だと言つておられた。誠におっしゃる通りだが、そういう風に受け入れられない私は、まだまだ未熟者…。笑顔で苦労話をされて、豆腐を作る顔がとても幸せそうで、あんな年の重ね方ができたらな」と思う。